

## 会員報告

### しあわせの村宿泊体験合宿に参加して

T・Y

去る6月20日・21日に開催された「しあわせの村宿泊体験合宿」に参加しました。昨年はバーベキューのみの参加でしたが、「今年は宿泊にも是非参加を」とお誘いがあり、いい機会だと思い、今回は宿泊にも参加することにしました。

受傷してから10年、今まで家族旅行は何度かしたことがありましたが、家族やヘルパーさん以外と外出、しかも外泊することは初めてのことなので、「1泊ぐらいなら大丈夫だろう」と思いながらも「本当に大丈夫だろうか」と不安でもありました。事前に自宅で頸損連のメンバーや学生さんと打ち合わせをしたり、しあわせの村へ下見に行き、バスの揺れを確認したりするうちにいよいよ当日を迎えました。

心配していた天気もまずまず、むしろ暑いくらい。バスの揺れもあまり無く、無事しあわせの村に到着。すでに多くのメンバーが到着しており、思っていた以上の学生ボランティアの多さに驚きました。

挨拶が一通り終わってからバーベキュー場に移動し、いよいよバーベキューが始まりました。同じテーブルに焼き肉屋でバイトしているという学生がおり、彼に焼くことはお任せして、食べることに専念…のつもりでしたが、次々に焼き上がる食材を前に、すぐに胃袋が一杯になってしまいあえなくダウン。ほかの頸損連のメンバーや学生たちの食べっぷりに圧倒されていました。



バーベキュー終了後、本館に移動し、ベッドを移動させてスペースを確保。部屋の中に全員が集

まって懇親会を行いました。広めの部屋だとはいえ、大人数なのでぎゅうぎゅう。話しも盛り上がり、気がつけばあっという間に0時近くになりお開きになりました。解散後も部屋のメンバーでの話しは続き、結局眠りに就いたのは午前2時頃でした。やはり、普段と異なる環境であったためなかなか眠れず、寝たり起きたりを繰り返すうちに夜が明けていました。

7時頃、雷の音で目が覚めました。激しい雨でしたが、すぐに止んで晴れてきました。着替え、車いすへの移乗、荷物をまとめ終わったときには既に9時を回っていました。

1階のロビーで全員集合し、解散の挨拶。初参加なので感想を求められましたが、何を言ったのかはあまり記憶にないです。そして最後に全員で写真を撮って解散しました。



今回、宿泊体験合宿に参加して感じたのは、「やってもらいたいことはあまり遠慮せず、お願いする」ということです。また、「具体的に何をやってもらいたいかを相手にわかりやすく伝える」ことの重要性も感じました。普段は勝手を知っている家族やヘルパーさんの介助なので、あまり気にすることは無いのですが、初対面の学生さんに対し、果たしてうまく伝えられていたのか、今後の課題になると思います。

今回の宿泊を通じて、家族以外での外出に対する自信ができました。また、仲間同士での旅行の楽しさを知ることもできました。またこのような機会があれば是非参加したいです。